

V章 調査研究・学会発表実績

1 その他の調査研究事業

学会等の名称	題目・論旨（担当課名）	著者名 （発表者名）等
第78回日本公衆衛生学会	<p>題目：医療的ケア児支援の取組と成果～北部地域の多職種・多機関の連携強化を目指して～</p> <p>論旨：北部地域においては、北部圏域ヘルシースタートおおい推進事業を軸とした保健・医療・福祉・教育等の支援体制の構築により、支援者とともに医療的ケア児の在宅生活の支援をしてきた。</p> <p>ヘルシースタートおおい地域推進専門部会では、平成25年度に作成した「医療的ケア児の在宅療養支援の手引き」に「支援関係機関一覧」を追加し、支援機関の意識の統一につながった。また、「医療的ケア児の在宅療養支援」関係者検討会や医療的ケア児支援定例会議は顔の見えるネットワークづくりや支援方針の検討の場となっており、このような検討する場の設置による支援機関の連携強化と関係性の構築が必要である。</p> <p style="text-align: right;">（地域保健課）</p>	<p>○ 平野 沙樹 永松 ゆきの 村上 智子 小野 美香子 梶原 美佐 山下 剛</p>
第65回 大分県公衆衛生学会	<p>題目：焼き肉店で発生した腸管出血性大腸菌O157食中毒について</p> <p>論旨：令和元年7月、管内の医療機関から計10名の腸管出血性大腸菌発生届があり、O157(VT1およびVT2)が分離されていることが判明した。調査の結果、全ての患者が同時期に同じ飲食店を利用していたことから、この飲食店を原因施設とする食中毒と断定した。本事例は食中毒の原因食材が入荷段階で汚染されていた可能性が高いと推察されたことから、作業ごとに調理器具の洗浄や手指消毒を徹底するよう指導した。利用客に対しては、生肉の十分な加熱及び生肉用トンゴと箸の使い分けについて店内で注意喚起を行うこととした。本事例を受け、今後も管内の飲食店に注意喚起を行い、さらなる指導に努める。</p> <p style="text-align: right;">（衛生課）</p>	<p>○ 橋爪 渚 石本 亘 長田 綾美 高橋 尚敬 大塚 政秀 三上 賢一 山下 剛</p>
令和元年度 食品衛生監視員・と畜 食鳥検査員・狂犬病予 防員研究発表会	<p>題目：焼き肉店で発生した腸管出血性大腸菌O157食中毒について</p> <p>論旨：令和元年7月、管内の医療機関から計10名の腸管出血性大腸菌発生届があり、O157(VT1およびVT2)が分離されていることが判明した。調査の結果、全ての患者が同時期に同じ飲食店を利用していたことから、この飲食店を原因施設とする食中毒と断定した。本事例は食中毒の原因食材が入荷段階で汚染されていた可能性が高いと推察されたことから、作業ごとに調理器具の洗浄や手指消毒を徹底するよう指導した。利用客に対しては、生肉の十分な加熱及び生肉用トンゴと箸の使い分けについて店内で注意喚起を行うこととした。本事例を受け、今後も管内の飲食店に注意喚起を行い、さらなる指導に努める。</p> <p style="text-align: right;">（衛生課）</p>	<p>○ 石本 亘 橋爪 渚 長田 綾美 高橋 尚敬 大塚 政秀 三上 賢一 山下 剛</p>